

## 教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒  
明るく思いやりのある生徒  
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 8 号

平成 29 年 6 月 26 日発行

須賀川市立第二中学校

☎ 75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

## 県中大会を通過点に 県大会に団体 7、個人 23



6月14日(水)、15日(木)に行われた県中地区中体連総合体育大会で、裏面に掲載したとおり、団体戦で7チーム、個人戦で23人(またはペア)が県大会の出場権を獲得しました。なお、この数字には陸上の県大会出場2名、水泳県大会出場6種目5名は含んでいません。

岩瀬地区大会と違って会場が遠方に分散しているため、もっとも多くの会場に出向けるよう経路を精査した結果、卓球、剣道の2競技については応援に行くことがで

きなかったことを最初にお詫びいたします。

さて、上位の大会になると、初戦から各地の予選を勝ち抜いた実力校が相手です。主導権を相手にとられないよう、試合の入り方がとても重要だということを痛感させられました。また、体力、特に持久力または回復力が大切です。終盤で逆転されないよう、1回戦、2回戦、・・・決勝戦と進んでも力が落ちないようにする必要があります。特に、団体戦にも出場し個人戦にも出場して、それなりの結果を残すためにはそれなりの鍛錬が必要です。身体の疲労に気力や集中力を奪われますから、日頃から心身両面からの鍛錬を自ら求めなければなりません。

参考までに、剣豪 宮本武蔵は「100日の稽古を『鍛』と言い、1000日の稽古を『錬』と言う。」という言葉を残しています。3ヶ月の継続、3年間の継続が成果・上達の節目になるようです。

ともあれ、県大会に勝ち進んだ3年生には、3年間練り上げたもの(『錬』)を余すところなく発揮できるよう練習・調整してほしいですね。

ソフトテニス部の女子は、団体優勝、そして個人戦でも1位と3位という優秀な成績を収めたにもかかわらず、「県大会に向けての課題が明らかになった。」と頼もしい言葉を聞かせてくれました。その課題解決のためには、県大会までの残り少ない練習期間に、弱点や欠点を克服することも大切です。しかし、一方で長所や得意技に磨きをかけるというアプローチもあります。試合の苦しい局面でチームを救ったり、試合の流れを引き寄せたりしてくれるのは、そういう練習で培ったものかもしれません。

さあ、どこまで登りつめることができるのか。可能性に挑戦です。



# 決めたぜ、県大会

## <団体>

- ソフトボール（女子） 優勝  
サッカー 第3位  
ソフトテニス 男子 優勝  
女子 優勝  
バドミントン 男子 第3位（県大会出場ならず）  
女子 準優勝  
柔道 男子 優勝  
体操 男子 準優勝

※体操団体は、県大会オープン参加

## <個人>

- ソフトテニス 男子  
3位 安藤達也・橋本蒼弥ペア  
Best 8 会田楓輝・吉田航ペア  
ソフトテニス女子  
1位 鎌田美樹・永沼さくらペア  
3位 柏原梨花・ミヒニャック杏菜ペア  
Best 8 佐藤愛華・小林愛ペア

## バドミントン男子シングルス

2位 鈴木一徳

## バドミントン男子ダブルス

5位 板谷尊・藤田京平ペア

## バドミントン女子シングルス

2位 上田彩乃

## バドミントン女子ダブルス

2位 菅原藍・角田陽真里ペア

5位 矢吹美空・野村希愛ペア

## 柔道

50 kg 2位 森駿介 3位 矢吹翔

55 kg 2位 佐藤優璃

66 kg 3位 榊枝龍希

73 kg 2位 大河原涼

81 kg 2位 加藤陽岐

90 kg 3位 十文字祐真

5位 須釜拓海

6位 岩本優翔

## 体操

総合 2位 阿部慎太郎

鉄棒 2位 阿部慎太郎

あん馬 1位 阿部慎太郎

2位 薄井拓真



この学校だよりは、本校 HP からご覧いただけます。